

知道 CHIDO-KAIHO 会報

83

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 角田芳夫
発行日 平成25年10月1日
通巻 第83号
メール chidokai_mito@chidokai.jp

目次	特集	女子座談会	1
	一高だより	学苑祭、各部の活動	4
	同窓会・支部だより	茨城町知道会ほか	6
	委員会	震災義援金収支報告	8

〈女子座談会〉

先輩、水戸一高のお話を 聞かせてください

昭和25年4月、水戸一高に女生徒2名が初めて入学した。翌年12名の女子が入学し、現在の女生徒数は4割前後で推移している。

8月6日(火)、女子二期生(昭29年卒)の2人の先輩に水戸一高にお出で頂き、在校生2人に校内を案内してもらった。その後、場所を変えて座談会を開いた。



現役生の案内で校内を見学する飯村さん、野上さん(左から)

座談会出席者

飯村 洋子(昭29卒・水戸市在住)
野上 薫子(昭29卒・小田原市在住)
佐川日南乃(高2・生徒会役員)
高倉 万侑(高2・生徒会役員)
聞き手(広報委員会)
宮内 寿子(昭47卒)
森田真理子(昭56卒)

入学まで

宮内 本日はお忙しい中をお集まり頂き、ありがとうございます。元々は、女子生徒が少なかった頃の先輩の話を伺っておいてはどうかという角田会長からのご提案で始まった企画ですが、女子二期生の先輩お二人

と在校生との座談会という形になりました。

森田 一高の女子は目標がはっきりしていて、自信に満ちている、近寄り難いというイメージがあるようですが、一高に入った理由は何ですか？

野上 当時は入学試験が今と違っていて高校進学学力検査というアチーブメントテストのようなものを受け、その結果が出身中学に送られてから志願先を決める方式だったんです。その結果、一高にも入れたんですけど、私は二高に入るつもりだったんですよ。新入生入学説明会のとき、二高に父が自転車で迎えに来て、大学進学を考えるなら一高に行けって。それで自転車の後ろに載せられ、急遽、一高へ移りました。

※次ページに続く

会員の集い 11月9日(土)開催

11月9日(土)に第14回(平成25年度)「会員の集い」を開催します。この会も参加者が300名を超えるようになり、昨年は、340名もの皆様が集まってくれました。

担当学年、総務委員が「講演会」「懇親会」が盛り上がるよう、そして受付がスムーズに行くよう毎月検討を重ねて来ました。今年の担当学年は昭57卒、平4卒、平14卒の皆さんです。

「講演会」は昭57卒で文化放送アナウンサーの太田英明氏を講師に、そして「懇親会」の企画は、今年12年ぶりに「不定期演奏会」を開催した吹奏楽部OBによる演奏と今年も盛り上がること間違いありません。会員の皆様の多数の参加をお待ち致しております。

「会員の集い」は「つながる つなげる」がスローガン。同窓生、先輩、後輩とご参加下さい。

「会員の集い」 11/9(土) 14:30から水戸京成ホテルで開催

女子座談会 先輩、水戸一高のお話を 聞かせてください

飯村 まあ、一高に入るからには自分なりにいろいろ夢もありましたが、家庭の事情もあり、大学進学は諦めました。

高倉 私は、祖母に小さいときから一高に入りなさいと言われていて、そうなんだと思ってました。



大学進学を考え一高と
いうことに…

野上薫子さん
(昭29卒・小田原在住)

けました。

歩く会・野球応援

森田 歩く会にも参加されたんですか？

野上 歩く会では3年生になって、全体で歩くところは歩かせてもらえたけど、後は先生たちが心配して歩



飯村んとは年中同窓
会って言われるわ

飯村洋子さん
(昭29卒・水戸在住)

かせてもらえなかったわ。

佐川 私は北茨城市ですが、周りが一高と決めていた感じで、何となく自分もそうかなという感じで受けました。

かせてもらえなかったわ。

飯村 歩いたわよ。1、2年のときは全体で歩いただけだったけど、3年のときは最後まで歩いたと思うわ。

野上 えー、そう。記憶にないわ。

飯村 学校のゴールで撮った写真に写ってたわよ。

森田 今みんな自由競争は走るの？

佐川 部活で何位以内までというの

があって、そこに入れないとバツゲームがあるので、走る部は走ります。

飯村 マメが一番辛かった。

高倉 今は、マメができません。

佐川・高倉以外 えー、どうして？

高倉 ランニングシューズを選ぶと大丈夫です。

佐川・高倉以外 そうなんだ、すごいね。

森田 野球の応援なんかもなさったんですか？

野上 県大会の応援に行ったし、応援の練習に駆り出されたわね。早弁してね。今はどうか分かりませんが。

飯村 今も練習やってると思うわ。

佐川 私、応援団に入ってます。

高倉 私はマネージャーです。

佐川 私たちは女子もチアーでなく、「学ラン」を着て応援しています。

学校生活

宮内 学業面で感じることは？

佐川 課題の量がすごいです。

高倉 でも、課題なんて必要ないという意見もあります。

佐川 自由討論で先生からそれなら全員一人も漏れなく提出したら考えるよ、と言われましたが。

森田 自由討論に先生も出席するんだ。

野上 一高では勉強したことより、先生にあだ名をつけたことを思い出すわね。

飯村 一高にはユニークな先生が多かったわね。

野上 そういう先生に教えられたのは幸せだった。人間として成長する上で、触発されるものがあったと思います。



高倉・佐川 すごくユニークな先生多いです。あだ名つけてます。

(という話から、現役先生方のユニークな側面も語られた)。

佐川 友人にも、何かにすごい才能持ってる人多いです。

宮内 三高や二高と男子の交流会があったという話を聞きました。

野上 一高の男子は女子を女と見ていなかったんだ。

宮内 それは感じてました。今はどう？

佐川 カ

ップルもいますが、三高の学園祭と一高のが重なったとき、空き時間になったら、「俺ちょっと三高の学園祭を見てくるわ」って言っていた男子もいましたね。

高倉 女子も男子と戦ってる感じがあります。女子と男子と仲はいいんですが、男子はライバルでもあるし、女子はコツコツやってないと負ける気がします。

野上 でも同級生のご夫婦も多いでしょ。飯村さんのところもそうだし。



女子も男子と戦ってる
感じがあります

高倉万侑さん
(高2・生徒会役員)

飯村 高校時代は、主人と話した記憶ないけど。飲み会なんかあると、飯村んところは年中同窓会だな、と言われるわね。

一高を振り返って



一高に入ってよかったことは？

広報副委員長・宮内寿子 (昭47卒)

宮内 水戸一高に入ってよかったと思うことは何ですか？

飯村 人生でいい経験をしたと思うけど。

野上 普段はあんまり考えたことはないんですけど、人生いろいろあって、私は思いもよらなかった(介護の)世界に生きています。でも、何かあったときに、一高を出たということがいい意味でのプライドになっている、という気がしてます。

飯村 そうね、学生の頃には思ってもいなかった方向にきた感じはしますね。

野上 学生時代の中でも高校時代って、一番懐かしい時代ですよ。高校

時代の友だちが、今会っても一番楽しいですね。

森田 一高に対してみんなどこかに愛校心を持ってますよね。一高卒と聞くと、互いにすぐに打ち解ける部分があります。

飯村・野上 一高にはしっかりした同窓会組織がありますね。卒業生にも活躍している方が多い。女性も頑張ってる

人が多いので、お二人もしっかりね。

宮内 本日は長時間にわたり、ありがとうございました。



みんなどこかに愛校心を持ってますよね

広報委員・森田真理子 (昭56卒)

<座談会を終えて>

人生は思いがけない。大先輩お二人も高校生の頃、今の自分は想像できなかったでしょう。

野上さんの、自分の意思とは関係ない形で流されてここへ来た、その時は、悩んで選んできたつもりだけど、という言葉が印象に残りました。

目標に向かって進む人生も素晴らしいけど、流れに任せて世の中を生きていくのもいいのかな、と。



応援団で学ラン着て応援してます

佐川日南乃さん (高2・生徒会役員)

在校生お二人も高校生らしい、真面目でかわいらしい方で、後輩ががんばれーと言いたくなりました。

(広報委員 森田 真理子)

2時間半に亘り、終始和やかな座談会でした。大先輩の高校時代と現役生のそれと、水戸一高という共通の土台があることで、話が弾みました。

「水戸一女子会」という形で年に3回くらい、水戸で交流会を行っています。人と人との出会いがもたらす「化学変化」に、多くの方が参加してくださることを期待しています。知道会ホームページに、案内が載ります。

(広報副委員長 宮内 寿子)

第62期第30回代議員会

代議員会は、年2回開催され、知道会の議決機関として事業や予算決算を審議し承認・決定しています。第62期第30回代議員会は、平成25年5月18日(土)に知道会館で開催されました。

冒頭、春の叙勲で瑞宝重光章を受章された角田会長に、平成25年卒学年代議員・大内真依さんより花束が贈呈されました。その後の審議等の概要をご紹介します。

(1)栗原幹事長から学年・地域・職域知道会等の活動、年会費の口座振替推進状況等について報告があった。

(2)総務委員会・粉川委員長から、11月9日(土)開催の第63期会員の集い準備状況の報告があった。

(3)財務委員会・西山委員長から、年会費口座振替者は現在約740名であり、1,000名超を目指すとの報告があった。

(4)親睦委員会・加藤委員からゴルフ大会とミニ歩く会の計画について紹介があった。

(5)小林親睦委員会副委員長から水戸一女子会の現状と計画について報告があった。

(6)栗原幹事長から水戸一高震災義援金について第62期の収支を中心に説明があった。また、震災義援金を活用して生徒の海外派遣事業に協力することが決定した。

平成14年卒 会員の集いに皆様の参加をお待ちしています

平成14年卒のfacebookを立ち上げて、現在64名の方にご登録頂いています。海外で活躍されている方、結婚して子育てをされている方など、分野は違えど、皆、頑張っていて自分も頑張らなければと感じ、楽しい再会となることを願っております。『集い』終了後、学年同窓会を開催します。皆様のご参加を心からお待ちしています。

場 所／ホテル・テラスザガーデン 水戸3Fシーブリーズ

時 間／19:00～21:00

会 費／5,000円(予定)

問合せ／mito.first.2002@gmail.com (33組 住谷直樹・細田明俊、36組 根本龍典)



第65回学苑祭(6月22日、23日)6千人が来校

広報委員会の取材で、約30年ぶりに一高学苑祭を訪れた。薬医門をくぐると、まず目に付いたのが昇降口前のカフェ。「STARBACKARI COFFEE」となっている。「スターばかり!」洒落も利いているが、デザインもよくできている。来訪者は、女子高生が多いが、一高生の父兄であろうか、中年の方々も結構目につく。

パンフレットを見ながら、昇降口から2階へ上がろうとするが、ものすごい人だかり。そして、人気のアトラクションには長蛇の列。校舎内をしばらく散策した後、軽音楽同好会の演奏が行われる体育館へ向かう。オリジナルかカバーかはよくわからなかったが、一高の体育館は広いせいか、後ろの方でもよく音が反響し聴き応えがある。最後に震災義捐金に寄付されるチャリティグッズを購入して、学苑祭を後にした。

昨年と同規模の約6千人が訪れた今回の学苑祭であったが「未踏の一瞬(とき)へ」という今年のテーマに恥じない、個人的には少し懐かしさも感じつつ、若人の創る新たなうねりを感じたイベントであった。

(広報委員 平山)

素晴らしい一瞬

佐々木純一・学苑祭実行委員長(37組)

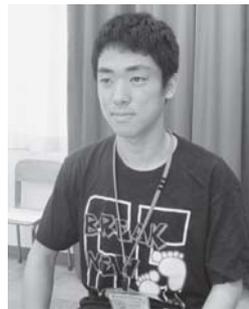
今年のテーマは、「未踏の一瞬(とき)へ」です。このテーマには、今までの学苑祭よりもさらなる高みを目指して、また私たちが味わったことのない素晴らしい一瞬に辿り着くという意味がこめられています。

昨年の9月から検討委員会を設け準備を開始し、実行委員は80余名、各セッションごとにマニュアルを綿密に作り上げていくという作業を行ってまいりました。その工夫の一つとして、今年の学苑祭の案内(パンフレット)

を一枚紙の折込式とし来訪者に見やすいものとしたり、各クラスや部のアトラクションについて内容にダブりが無いような企画に調整しました。

おかげさまで、2日間で6千人程の方にお越しいただき、待ち人で賑わうアトラクションも多く、大変盛り上がりのある学苑祭となりました。生徒やお客様も、まさに素晴らしい一瞬を過ごせたのではないかと自負しております。

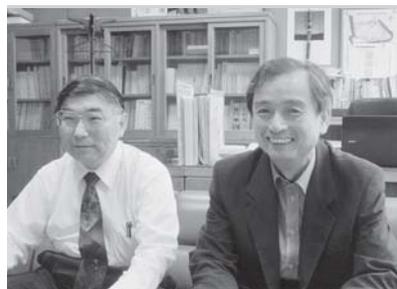
最後に、顧問の先生方をはじめご協力いただいた生徒の皆さん、お世話になった全ての方々に感謝します。



佐々木純一・学苑祭実行委員長

一高生としての誇りと自立性を

校長 小田部幹夫 副校長 木戸明良
今年の学苑祭のテーマである「未踏の一瞬へ」ですが、「みとうのときへ」と読ませ、「未踏」は「水戸」、「一瞬」の「一」と合わせて「水戸一」の意味も持たせているそうです。さらに、「未踏」には、歴史と伝統のある本校であります、「新たな歴史と伝統を自分たちが切り拓いてい



右から小田部校長、木戸副校長

く、我々が新しい時代を創っていくんだ」という思いもあるそうです。

我々の在学時とは価値観が異なる面も多少ありますが、この学苑祭に向けて各生徒がそれぞれ一生懸命取り組む姿を見て、水戸一高生の自主性と多様性そして状況に応じた対応力を実感することができ、誇らしい気持ちになりました。今後とも、生徒たちが水戸一高生としての誇りと自立性を醸成できる環境づくりに取り組んでまいりたいと思います。

※この記事は知道会ホームページと連動した抜粋版記事となっております。知道会ホームページで全体版もお楽しみください。<http://www.chidokai.jp/>

フェンシング 北部九州総体7位入賞

8月3日から大分県日田市で開催された全国高校総体フェンシング競技男子フルレの部に15組の安雅人が出場し、7位入賞を果たした。

準々決勝で、今大会の優勝者で世界大会優勝の経歴を持つ東亜学園高校(東京都)の選手と対戦。9対15で敗れはしたものの、強豪薙めくこの部門にあって強豪の一角であることを印象づけた。

弓道部

8月の全国高校総体男子団体に、大山夏輝(31)、仲沢将人(31)、藤本卓弘(31)、中山亘(21)、高須航(28)が出場した。本校では8年ぶりの団体戦出場になる。予選を通過し、決勝トーナメントへと進んだが、1回戦で福岡県の青豊高と対戦し、9-12で敗退した。

今後も練習の成果を結果として残すことができるように、男女ともに日々の稽古に精進していきたい。

陸上競技部

日頃より目標(IH出場)を掲げて練習に励み、高い集中力を持って大会で実力を発揮する。

今年度は女子800mでIH出場を果

たしたが、予選敗退。当初の目標が低かったようだ。IH出場という目標から予選通過という目標に引き上げ全国で競っても勝負にならない。目標設定の重要性を全国で痛感した。何事も目標は高く。

棋道部

棋道部は、8月に長崎県で開催された全国高校総合文化祭の囲碁部門に出場した。男子個人戦に小野康介(24)、団体戦に本県チーム(男女混合3名)の一員として海野壘(28)が出場した。

団体戦は16位と好成績であった。次年度は本県開催で、さらなる活躍を期待したい。

棋道部は、将棋と囲碁の活動を行っている。囲碁を主に活動する部員が少ない傾向にあるが、少数精鋭で一丸となって活動を盛り上げていきたい。

書道部 全国総合文化祭に出品

長崎県佐世保市での大会に佐々木菜好(27)が参加した。出品作品は約半年かけて制作した縦242cm横91cmの大作で、唐時代の僧侶懷素の書いた「草書千字文」だ。

朱色の紙に魂を込めて一千字を書き込んだ作品は全国から選ばれた313点の中でも存在感があり講評会では40余点の中に選ばれ「強弱の効いた弾力のある草書で、忍耐力のある粘り強い精神性を感じる作品」と評された。

また佐々木は閉会式時に来年の茨城大会の代表スピーチを行い、大喝采を受けた。

生物同好会部

生物同好会部を代表して、住谷有規(21)と竹中弘(22)が8月2～5日に長崎県島原市で行われた全国高等学校総合文化祭自然科学部門でポスター発表を行った。

各地で絶滅危惧種に指定されているアキノギンリョウソウの生態について、2日間、来場者への説明を行った。惜しくも入賞は逃したものの、「珍しい植物の話が聞け

て良かった」、「説明がわかりやすかった」などのコメントをいただくことができ、大変貴重な経験となった。

化学部 全国高校総文祭3年連続出場

自然科学部門が新設されて以来、3年連続の出場となりました。

「PVAゲルを用いた衝撃吸収性に関する研究」で研究発表(物理)に茨城県代表として出場。3年生が引退し、引き継いだ2年生が発表にのぞみ、全国の舞台で堂々と発表して参りました。

美術部

「2013長崎しおかぜ総文祭 美術・工芸部門」は7月下旬より8月上旬にかけ長崎市で開催され、本県代表の一人として諏訪春佳(31)が油絵50号の大作『今いる向こう側』を出品し、開会式・アトラクション・講演会・講評会及び他県代表生徒との交流会へと参加出場した。

全国レベルで最も水準の高い美術作品が一同に展示された長崎県美術館での展覧会では、現代感覚溢れる諏訪さんの力作が一際光彩を放ち注目された。

放送部

7月に東京渋谷で行われた、放送関係の最高峰であるNHK杯全国大会に、園部耀子(31)、石井美奈(24)がアナウンス部門、鈴木斐子(31)が朗読部門で出場した。作品部門でも創作ラジオドラマ、創作テレビドラマが出場した。

日頃の発声訓練・滑舌訓練の成果もあり、善戦したものの、惜しくも初戦で敗退したが、全国のトップレベルの精鋭が集う中で、貴重な経験を得ることができた。

また、8月の長崎総文祭には園部耀子がアナウンス部門で、また作品部門ではビデオメッセージ部門が出場した。

次年度以降は、同大会の各部門で上位進出を果たすべく、目下充実した部活動を行っている。

吹奏学部

8月の長崎県で行われた総文祭吹奏楽部門で、茨城県選抜吹奏楽団として演奏し、本校から、澁谷風司(21)、池田慶人(22)、関東友葵(27)が舞台に乗りました。

来年度は、茨城県で開かれます。開催県としてのPRを全国の高校生の前でしてきました。今度は私たちが来年度の茨城総文を盛り上げていきたいです。

生徒海外派遣プログラム

知道会の協力を得て、今年度から実施する「生徒海外派遣プログラム」は、初回として来年3月上旬にシンガポールに行きます。

経済や科学技術などでめざましい発展を遂げている、多民族国家シンガポールでの研修を行うことで、アジアで進展する国際化の現状に触れ、語学力向上と異文化理解、同世代の生徒との交流を通して、これからの世界に羽ばたく力を育てることがねらいです。

約1週間の滞在期間中に、中等教育学校での授業参加・交流活動、シンガポール国立大学訪問、シンガポール日本大使館訪問や現地企業での研修等を行い、密度の濃い有意義な海外研修にしたいと考えています。多数の生徒から参加申込があり、7月に選考を行って派遣生16名が決定しました。

8月23日の第1回説明会を皮切りに、出発までの約半年間にわたり、語学やテーマ研究など事前研修を行い、帰国後は、報告書作成や報告会などで派遣の成果を還元していきます。



第1回説明会

EVENTS

同窓会・支部だより

4月

- 6日 桜山知道会
- 7日 昭48卒40周年記念同窓会
- 9日 水戸一高入学式
- 21日 みつば知道会総会
- 22日 広報委員会

5月

- 11日 下市知道会
- 17日 総務委員会第1回実行委員会
- 18日 第62期第30回代議員会
- 27日 親睦委員会

6月

- 1日 常陽銀行知道会
- 8日 知道会ゴルフ大会
笠間知道会
- 14日 鹿行・鉢田知道会
- 16日 水戸一女子会
- 18日 県庁知道会
- 21日 東海村知道会
- 22日、23日 水戸一高学苑祭
- 28日 総務委員会第2回実行委員会
- 29日 常陸太田知道会
- 30日 茨城町知道会

7月

- 7日 岩間知道会
- 8日 広報委員会
- 13日 土浦水中一高会
- 14日 友部知道会
- 19日 総務委員会第3回実行委員会
- 26日 みつば知道会納涼会

8月

- 6日 水戸一女子座談会
- 9日 総務委員会実行委員会懇親会
- 24日 昭42年卒同窓会
新莊知道会
- 25日 那珂知道会

9月

- 1日 秋田高校創立140周年記念
式典出席
- 7日 行餘学会（那珂湊知道会）
- 20日 総務委員会第4回実行委員会
- 29日 ミニ歩く会（水戸コース）

茨城町知道会

平成25年度茨城町知道会総会は、平成25年6月30日（日）、茨城町役場近くの「柴龍」を会場に、知道会幹事長・栗原英則氏、参議院議員・知道会会員・藤田幸久氏の参加を得て開催しました。

総会は、物故者に対して黙祷を捧げた後、佐藤方彦会長の挨拶で始まり、続いて栗原英則知道会幹事長から、学校・知道会の現況について詳しいご報告をいただきました。議事に入り、平成24年度会計決算報告・25年度会計中間報告、「歩く会」（10月12、13日実施・東海コース・茨城町広浦小学校で中休止、昼食）歓迎に関する審議等が行われ、滞りなく総会を終了しました。

懇親会では、参加者のユーモアあふれる自己紹介・近況報告・情報交換等が行われ、最後に、校歌を高らかに斉唱し、会員の健康と母校の益々の発展を祈念し、盛会のうちに散会しました。

海老沢貞夫（昭36卒）



みつば知道会

大洗町でワンコインツアー

大洗町といえば海水浴場と大洗ゴルフ場が知られるが、東日本大震災の津波と風評被害により町は大打撃をうけた。

それまで年間500万人を誇った観光客も激減。すっかり商店街も活気をうしなつた。町の観光協会がこれをとりのもどそうとワンコインツアーを企画したが、100円ずつ5つの店を買いまわりボランティアによるガイド付きでスローフードとちょっぴりのグルメをたのしんでもらう催しである。曲松商店街～永町商店街を約2時間くらい散策するが、去る3月にTBSテレビにてボランティアのガイドの田口さん（昭34卒）が出演、好評を博した。



みつば知道会（水戸市西部）ではこれを機に6月2日（日）、6月9日（日）の2日間にわけて飯村会長夫妻、高木副会長、古平知道会事務局長夫妻等々17名が大洗町役場に集合した。ガイドは観光協会より地元の大洗町知道会会員の田口さんご夫妻と市毛さん（昭37卒）を紹介していただいた。

町なかの造り酒屋「つきの井」「年宝菓子店（カルメラ焼き）」、街一番の歴史家の「江口又新堂」「国井屋お茶店」、みつ団子の「たかはし」等々昔なつかしい店が歓待してくれる。又老舗の寿司店（かまや）では知道会員の昭41卒の関根さんがいろいろな話題をおもしろおかしく提供してくれた。

昼食後は飯岡水産店、坂本水産直売店のお土産店に寄ったが一行の奥様方の旺盛な買い物ぶりには驚かされたものであった。大洗町は近來のアニメのガールズパンツァー（ガルパン）の人気で全国より若い人の〈聖地〉訪問が活発でそこかしこの『パネル』の前で写真を撮る人が目についた。是非、大洗町を早いうちにおとずれてみては如何でしょうか。

堀江 効（昭34卒）

剣道部OB会設立に向け 卒業生総会を開催予定

剣道部は戦後の禁止令期間を除いて一貫して活動を続けてきましたが、剣道部卒業生が一堂に会したのは、学校創立130周年の平成21年1月でした。その際、OB会設立が提案され、発起人で検討した結果、下記の要簡で剣道部卒業生による総会を開催した上で、OB会設立を決定することにしました。剣道部OB各位は奮って出席されるよう、予めお知らせいたします。

なお、10月中旬に案内状を送付する予定ですが、通知が届かない場合は幹事までご連絡ください。

日時 平成26年1月11日(土)
会場 三の丸ホテル
日程 13:00~14:00 稽古(水戸
一高体育館)、15:00~18:00
総会並びに大同窓会
発起人幹事 小田倉康家(昭45卒)、
連絡先TEL・FAX 029-239-6308(自宅)

至誠寮寮歌を高らかに

明治36年から36年間にわたり、本校(水戸中学)は遠隔地の生徒を受け入れる寄宿舎(寮)を設けた。寮は正門から入った左側、テニスコートのあたりにあって、寮生は30名から80名ほどであった。その至誠寮には大正13年頃、寮歌が作られ愛唱されていた。元国立勝田高専教授の木村一郎氏(昭7卒)は今も寮歌を歌い続けている。

作詞者は校歌の作詞者である旧職員古賀快象教諭、作曲者は木村氏



木村一郎氏(昭7卒)

のお母様・水戸高女の木村たづ子教諭である。木村氏は大正3年8月4日生まれ98歳(7月取材時)で気持ちも声もお若く、ピアノを弾かれる妹さんとともに今も歌の発表会をなさっているとのこと。

氏が80年にもわたって歌い続けてきた至誠寮寮歌を知道会HPからお聴きいただきたい。

【HPアドレス】<http://www.chidokai.jp/ryoka/index.html>

(前財務委員長 小野邦夫 昭39卒)

いざよい会

昭和16年旧制水戸中学校を卒業したときは200名いた同窓も、今年は約3分の1になった。戦争・復興と続き、同窓会を開く機運になったのは昭和39年。水戸・東京と年2回、家族も参加する同窓会は楽しみの一つであったが、80才を過ぎたら止めようと、平成17年に幕を閉じた。

これとは別に、安い会費で気軽に毎月集まろうということで、平成9

年より有志の会を始めた。16年卒にちなんで「いざよい(16夜)会」と名付け、毎月16日に開くこととし、今も続いている。初めは20数名いたが、現在の常連は5名となった。

自分が納得する絵を描きたいと、夏冬を通して毎朝3時起きで精進するO、旧軍人の会や遺族会の会長を務めて忙しいT、全国の祭りや花を見にゆく町の元教育長のS、新しいものに興味があり、完成と同時に東京ゲートブリッジを歩き、スカイツリーに上がった元気なK、囲碁や古文書など趣味の多い元原子力屋のOなどである。なお会場へ電話出席するのは元東京同窓会長のIである。今では、月一回の「いざよい会」が心のよりどころになっている。われわれは、わが国の興亡・盛衰の真只中で生きてきた。平和な日本が未永く続くことを願っている。

佐藤 善介(昭16卒)

春の叙勲

角田会長が瑞宝重光章を受章

2013年春の叙勲受章者が4月29日に発表された。角田芳夫知道会長に



角田会長と大内真衣さん(平25卒)

は瑞宝重光章を受けられることとなり、5月9日に宮中での勲章伝達式に出席された。

行餘学会市民講座を開く

9月7日(土)、直腸癌の術前化学放射線療法の実状について、行餘学会(湊・水一中高会)市民講座が開かれました。講師に小室安宏(昭60卒)さんをお迎えし、一般の方も合わせ百名を超える参加がありました。

その後、行餘学会の総会・懇親会が、角田知道会会長と古平事務局長のご出席を頂き催されました。平成行餘学会初代会長の梅原徳昭さんはじめ物故会員への黙祷の後、総会・懇親会。校歌斉唱で幕を閉じましたが、何人もの方が、ロビーで談笑している姿が印象に残りました。

宮内 寿子(昭47卒)

笠間市岩間知道会

平成25年度笠間市岩間知道会(中村彦蔵会長)定期総会が、去る7月7日市内の割烹亀屋で22名の方々が参加して、盛大に開催されました。当日はご多忙にもかかわらず知道会本部の古平事務局長および市内笠間地区、友部地区の代表の方々の参加をいただきました。ありがとうございました。

総会懇親会は佐藤善介顧問の乾杯で盛会に行われました。岩間地道会では講演会やミニ歩く会等、笠間市内の笠間知道会、友部知道会との交流も行い、懇親を深めております。

落語研究会の思い出

広報委員：内藤 学(昭53卒)

先日珍しいものを見つけた。セピア色に変色した昭和47年10月15日創刊号の「水一中高会報」である。中に、「異色のクラブ 落語研究会」の紹介記事があった。学園紛争の嵐が過ぎ去った昭和42年の設立とあり、「芸名の好文亭吐玉泉、これは代々襲名される会長用だ」と紹介されている。

実は私、その落研の第10代好文亭吐玉泉なのである。シミだらけの会報に、当時の部室長屋の茶色い薄っぺらな壁が重ならない。四月早々新入生の私がないにげなく「落研」の部室を叩き、最初に出会ったのが1学年上の高橋明郎先輩。あまりの老け顔、いや落ち着きはらった風格に担当教諭と間違えたほど。次第に同

期の仲間も増え、練習の日々。いや、たまに。

学園祭は落研担当の片岡先生管轄の物理学教室が高座に変貌を遂げる。「水高名人会」と称し、不思議な空間に毎回満員御礼。緊張のあまり断をすっ飛ばすのもご愛嬌。笑いの絶えない高校生活だった。聞くとは今も廃部になっているらしい。残念、実に残念。

今年の1月のこと。高校の先輩で知り合いの医師でもある高沢彰さんが高松に出張の際、仕事で対応されたのが前述の高橋先輩。たまたま机に落語の本があり、たまたま私の話に。35年ぶりに断が繋がる。ご縁の不思議さよ。現在高橋先輩は、国立香川大学の教授をされている。ゆっくり当時の仲間と再会したいものである。廃部となっている「水高名人会」の再興も夢みて。お後がよろしいようで。

水戸一高震災義援金収支報告

平成 25 年 3 月 31 日現在

収入の部

科 目	金 額	備 考
義援金収入		
第60期受入額	21,069,422	1,846名
第61期受入額	1,092,528	161名
第62期受入額(27回卒業60周年記念同窓会)	200,000	
収入の部合計	22,361,950	

支出の部

科 目	金 額	備 考
第60期実施事業分		
ソファ	78,855	進路指導室
放送設備	428,400	
理科の実験器具	105,105	
エアコン	1,864,000	知道会館2F
図書室修理	187,950	
ブロンズ像修理	100,000	わが道をゆく
グラウンド配線工事	30,450	
保管庫	311,913	
グラウンド補修、武石・飛田像設置工事	1,008,000	
武石浩波銅像修理	682,500	
ガラス入れ替え	240,660	
江山閣排水改修	126,000	
交通費、施設使用料	1,931,250	体育館使用不可に伴う経費補助
簡易放射能検知器	121,800	
手数料	7,770	
小 計	7,224,653	
第61期実施事業分		
知道会館修理	3,035,550	
武石浩波の碑文	235,095	
銅像修理	94,500	
エアコン・テレビ	666,720	
義援金納入者名簿	637,875	22,500部印刷
交通費、施設使用料	484,945	体育館使用不可に伴う経費補助
消耗品類	195,120	
振込手数料	7,035	
小 計	5,356,840	
第62期実施事業分		
知道会館備品(下駄箱、スクリーン等)	876,645	
グラウンド補修	598,500	
屋外照明工事	819,000	
振込手数料	2,730	
小 計	2,296,875	
支出の部合計	14,878,368	
残 金	7,483,582	

親睦委員会

第 34 回知道会ゴルフ大会

第34回知道会ゴルフ大会を6月8日(土)に54名の参加をいただき浅見カントリー倶楽部で開催いたしました。当日は梅雨入り後にもかかわらず晴天に恵まれ、絶好のゴルフ日和となりました。本年は隔年で設定している休日開催で、またゴルフ場のご厚意によりプレー費も比較的安価に設定できたせいか昭和50年代卒業以降の若年層の参加者が多数見られました。

いつもご一緒に回っている同学年の組、また単独で参加され初対面の先輩、後輩とプレーしている組などそれぞれでしたが、皆様同窓の仲間とゴルフを楽しまれたかと思えます。

結果はシニア部門の優勝者が36年卒の白田輝男様、レギュラー部門の優勝者が48年卒の篠原勉様でした。誠にありがとうございます。来年は大洗ゴルフ倶楽部で開催する年であり、例年通り6月初旬の木曜日開催予定です。メンバーの方はもちろんですが、是非大洗ゴルフ倶楽部でプレーしてみたいという方も奮ってご参加いただけたらと思います。

物 故 者 (H25.4 ~ H25.8 にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

旧職員 倉本嗣王(理博)	昭19中 中井川昇一	昭26 渡部敬一	昭32 忽那指俊
昭8中 近江 宏	昭20中⑤長谷川広司	昭26 雨澤久夫	昭33 戸沢隆司
昭10中 石田繁之介	昭20中⑤照山四夫	昭26 瀧上 隆	昭34 福田昌明
昭12中 嘉藤正男	昭20中④小貫武壽	昭26 内藤健二	昭35 菊池 敬
昭12中 莊 健次	昭20中④小野満喜男	昭27 藤枝 護	昭36 蓮沼 仁
昭16中 大貫農夫雄	昭20中④小林輝男	昭27 白石宣徳	昭37 小林廣昭
昭16中 小滝進一	昭22中 西成田 謙	昭27 田山幸男	昭37 前川信吾
昭17中 小山稔令	昭23中 大矢義和	昭28 中村 彰	昭41 田中敬三
昭17中 小林輝武	昭23中 斎藤 貫	昭29 石橋武治	昭43 宇野満明
昭17中 松浦 耕	昭23中 寺門 悦	昭30 長江希一	昭43 檜山義明
昭18中 阿部弘雄	昭23中 梅原徳昭	昭30 市毛 洋	昭47 塙 一幸
昭18中 猪瀬宝山	昭24中 藤田健次郎	昭30 大内一郎	昭51 熊坂(橋谷)まゆみ
昭18中 丹 直康	昭24 大矢義和	昭31 鹿島芳丈	昭57 北畠 守
昭19中 大森信英	昭24 斎藤 貫	昭32 下条(小林)武男	平 5 秋元理匡
昭19中 大森政虎	昭24 寺門 悦	昭32 根本悦郎	
昭19中 小林常彦	昭25 鈴木千里	昭32 山田敏正	

【事務局だより】

「詐欺電話にご注意！」

本校卒業生の名を騙る詐欺の電話があったという情報が寄せられています。

会員の皆様には充分ご注意くださいよう、ご家族ともいま一度確認をお願いします。